

平成18年災害の概要

平成20年3月

佐 賀 県

目 次

平成18年災害別被害総括表	1
---------------------	---

災害別気象状況及び被害状況等

1 4月10日から11日にかけての豪雨	2
2 5月19日の豪雨	5
3 6月25日の豪雨	7
4 7月4日の豪雨	9
5 7月18日から20日にかけての豪雨	12
6 8月13日の竜巻	14
7 8月18日から19日にかけての台風	15
8 9月16日から18日にかけての台風	20
9 11月6日の降雹	29

平成18年月別気象概況	31
-------------------	----

参考資料

1 過去10年間の被害状況	43
---------------------	----

平成18年災害別被害総括表

名 区 分	災害 4月10日 から11日 にかけての 豪雨	5月19日の 豪雨	6月25日の 豪雨	7月4日の 豪雨	7月18日 から20日 にかけての 豪雨	8月13日の 竜巻	8月18日 から19日 にかけての 台風10号	9月16日 から18日 にかけての 豪雨及び 台風13号	11月6日の 降雹	計
人的被害（人）								34		34
死者								3		3
負傷者								31		31
住家被害（棟）	5		8	8				3,472		3,493
住家全壊								7		7
住家半壊								8		8
住家一部損壊	1		3					2,977		2,981
住家床上浸水								111		111
住家床下浸水	4		5	8				369		386
非住家被害								374		374
土木被害（千円）	212,800		133,900	286,600	108,400		93,000	5,377,340		6,212,040
農業被害（千円）	545,663		264,510	574,933		1,186	344,066	20,363,291	47,426	22,141,075
林業被害（千円）	51,350	700	24,350	223,250	11,030		100,340	2,727,416		3,138,436
水産被害（千円）								442,776		442,776
文教被害（千円）							20,000	207,000		227,000
商工被害（千円）				1,215				234,778		235,993
厚生被害（千円）								79,378		79,378
その他（千円）								91,064		91,064
計	809,813	700	422,760	1,085,998	119,430	1,186	557,406	29,523,043	47,426	32,567,762

災害別気象状況及び被害状況等

1 4月10日から11日にかけての豪雨

(1) 気象

ア 概況

9日夜から10日は前線を伴った低気圧が九州北部に接近し、11日は低気圧が九州北部を通過した。

また、動きが遅かったため長時間雨が降り、各地で133mm～322mmの雨が降った。
このため、県内各地で、住家被害、土木被害、農業被害及び林業被害があった。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
4月10日	115	131	170	221	102	148	217	124	101	245
4月11日	31	28	67	51	31	55	48	38	34	77

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		雷, 強風, 波浪 雷, 強風 雷, 強風, 波浪 雷, 強風, 波浪 雷, 強風, 波浪 雷, 強風	4/9 17:05 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水	4/10 15:20 (切替)
南部 北部	大雨, 洪水	大雨, 雷, 洪水 雷	4/10 18:50 (切替)
佐賀県	大雨, 洪水	雷	4/10 20:45 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水	強風	4/11 5:15 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 強風, 洪水 大雨, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 強風, 洪水	4/11 7:30 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		強風 強風, 波浪 強風	4/11 10:07 (切替)

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風，波浪 強風 強風，波浪 強風，波浪 強風，波浪 強風	4/11 11:27 (切替)
唐津地区		強風，波浪	4/11 16:20 (切替) 4/12 3:21(解除)

(2) 被害

被害総額 809,813千円

ア 住家被害

区分	被害数量	備考
一部損壊	1棟	嬉野市(1)
床下浸水	4棟	武雄市(4)
計	5棟	

イ 土木被害 212,800千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
河川	13箇所	45,200	護岸崩壊、法面崩壊
道路	28箇所	164,800	路肩崩壊、法面崩壊
その他	2箇所	2,800	下水路側壁崩壊
計		212,800	

ウ 農業被害 545,663千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農 地	田	8.23ha	164,000	畦畔法崩れ
	畑	3.69ha		
農 業 用 施 設	利用施設	34箇所	119,000	ビニルハウスの破損
	道路	34箇所		法崩れ
	水路	27箇所		法崩れ
	ため池	7箇所		漏水
	その他	1箇所		頭首工破損
農 作 物	麦類	1,021ha	101,301	
	野菜	210ha	153,485	
	果樹	0.17ha	4,953	
計			545,663	

エ 林業被害 51,350千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地		7箇所	18,000	
林道		23箇所	33,350	法面崩壊、路肩崩壊
計			51,350	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 4月10日 18時50分 ~ 4月10日 23時45分

災害警戒本部 4月10日 23時45分 ~ 4月11日 07時30分

災害情報連絡室 4月11日 07時30分 ~ 4月11日 12時00分

(イ) 市町村

災害対策本部 1市町

災害警戒本部 0市町

災害情報連絡室 19市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 61人

(イ) 消防団員 245人

2 5月19日の豪雨

(1) 気象

ア 概況

台風第1号から変わった低気圧の影響で、各地で25～61mmの雨を観測した。
このため、林業被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
5月19日	27	45	53	61	23	46	25	26	27	38

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風, 波浪 強風 強風 強風 強風, 波浪 強風	5/19 4:50(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風, 波浪 強風 強風, 波浪 強風, 波浪 強風, 波浪 強風	5/19 5:04(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水	5/19 8:54(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風, 波浪 強風 強風, 波浪 強風, 波浪 強風, 波浪 強風	5/19 13:13(切替)
唐津地区		強風, 波浪	5/19 16:55(切替) 5/20 7:15(解除)

(2) 被害

被害総額 700千円

ア 林業被害 700千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	1箇所	700	
計		700	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

なし

(イ) 市町村

なし

イ 消防機関の出動状況

なし

3 6月25日の豪雨

(1) 気象

ア 概況

梅雨前線が九州北部に停滞したため、県内各地で42mm～123mmの雨が降った。このため、県内各地で、住家被害、土木被害、農業被害及び林業被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
6月25日	42	70	68	75	102	123	102	88	97	65

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		大雨, 雷, 洪水	6/25 12:17(切替)
佐賀多久地区	大雨, 洪水	雷	6/25 13:24(切替)
鳥栖地区	大雨, 洪水	雷	
武雄地区	大雨, 洪水	雷	
鹿島地区 北部		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水	
佐賀県		大雨, 雷, 洪水	6/25 17:05(切替)
佐賀県		雷	6/26 5:10(切替) 6/26 13:10(解除)

(2) 被害

被害総額 422,760千円

ア 住家被害

区分	被害数量	備考
一部損壊	3棟	唐津市(1) 鹿島市(2)
床下浸水	5棟	武雄市(5)
計	8棟	

イ 土木被害 133,900千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
河川	14箇所	58,300	護岸崩壊、法面崩壊
道路	30箇所	75,600	路肩崩壊、法面崩壊
計		133,900	

ウ 農業被害 264,510千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農 地	田	3.06ha	121,000	畦畔法崩れ
	畑	1.98ha		
農業用 施設	ため池	7箇所	143,000	漏水
	水路	29箇所		用水路法崩れ
	道路	38箇所		法崩れ
	その他	1箇所		頭首工の破損
農作物	果樹	0.1ha	510	
計			264,510	

エ 林業被害 24,350千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	3箇所	4,500	
林業施設	1箇所	200	敷地内道路陥没
林道	7箇所	19,650	法面崩壊、路肩崩壊
計		24,350	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 6月25日 13時24分 ~ 6月25日 15時45分

災害警戒本部 6月25日 15時45分 ~ 6月26日 8時00分

災害情報連絡室 6月26日 8時00分 ~ 6月26日 13時10分

(イ) 市町村

災害情報連絡室 17市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 56人

(イ) 消防団員 637人

4 7月4日の豪雨

(1) 気象

ア 概況

九州南部に停滞していた梅雨前線が北上し、県内各地で69mm～144mmの雨が降った。このため、県内各地で、住家被害、土木被害、農業被害、林業被害及び商工被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
7月4日	92	115	110	112	92	85	124	94	69	144

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		雷	7/4 8:30(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 洪水	7/4 15:20(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水	7/4 19:55(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷, 強風 雷, 強風 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水	7/4 21:26(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水	雷, 強風 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水	7/4 22:18(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水	7/4 23:48(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 洪水 大雨, 雷, 強風, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 洪水	7/5 11:25(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 雷 大雨, 雷, 洪水	7/5 16:28(切替) 7/5 20:48(解除)

(2) 被害

被害総額 1,085,998千円

ア 住家被害

区 分	被害数量	備 考
床下浸水	8棟	基山町(3) みやき町(5)
計	8棟	

イ 土木被害 286,600千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
河川	48箇所	130,600	護岸崩壊、法面崩壊
道路	60箇所	156,000	路肩崩壊、法面崩壊
計		286,600	

ウ 農業被害 574,933千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農 地	田	24.86ha	263,000	畦畔法崩れ
	畑	3.37ha		
農 業 用 施 設	利用施設	1箇所	357	ハウス半倒壊
	ため池	6箇所	311,000	漏水
	水路	120箇所		法崩れ
	道路	82箇所		法崩れ
	その他	4箇所		頭首工の破損
農 産 物	水稻	0.5ha	576	
計			574,933	

エ 林業被害 223,250千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	16箇所	175,450	
林道	79箇所	47,800	法面崩壊、路肩崩壊
計		223,250	

オ 商工被害 1,215千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
テクノセンター 用地	1箇所	1,215	法面崩壊
計		1,215	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 7月4日 20時45分 ~ 7月5日 21時00分

(イ) 市町村

災害対策本部 4市町

災害警戒本部 1市町

災害情報連絡室 16市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 85人

(イ) 消防団員 1,036人

5 7月18日から20日にかけての豪雨

(1) 気象

ア 概況

梅雨前線が対馬海峡を南下し、県内各地で70mm～187mmの雨が降った。このため、県内各地で、土木被害及び林業被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
7月18日	1	2	4	0	7	5	2	6	1	10
7月19日	125	114	84	54	94	63	39	59	54	69
7月20日	61	56	36	60	77	80	29	29	27	69

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
唐津地区		強風, 波浪	7/18 16:47(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	7/19 3:45(切替)
佐賀県		大雨, 雷, 洪水	7/19 10:20(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 北部		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷 大雨, 雷 大雨, 雷	7/20 11:30(切替)
佐賀県		雷	7/20 15:40(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	7/20 23:23(切替)

(2) 被害

被害総額 119,430千円

ア 土木被害 108,400千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
河川	13箇所	99,500	護岸崩壊、法面崩壊
道路	4箇所	3,900	路肩崩壊、法面崩壊
その他	1箇所	5,000	公園
計		108,400	

イ 林業被害 11,030千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林道	16箇所	11,030	法面崩壊、路肩崩壊
計		11,030	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県
なし

(イ) 市町村
なし

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 9人

6 8月13日の竜巻

(1) 気象

ア 概況

13日は高気圧に覆われるが、南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受けて一時的に大気の状態が不安定となり、竜巻が発生した。

このため、佐賀市において農業被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
8月13日	0	0	0	0	0	0	9	0	33	1

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀県		雷	8/13 11:30(発表) 8/13 20:52(解除)

(2) 被害

被害総額 1,186千円

ア 農業被害 1,186千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
農業用施設	利用施設	3箇所	1,186	ハウスの破損
計			1,186	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

なし

(イ) 市町村

なし

イ 消防機関の出動状況

なし

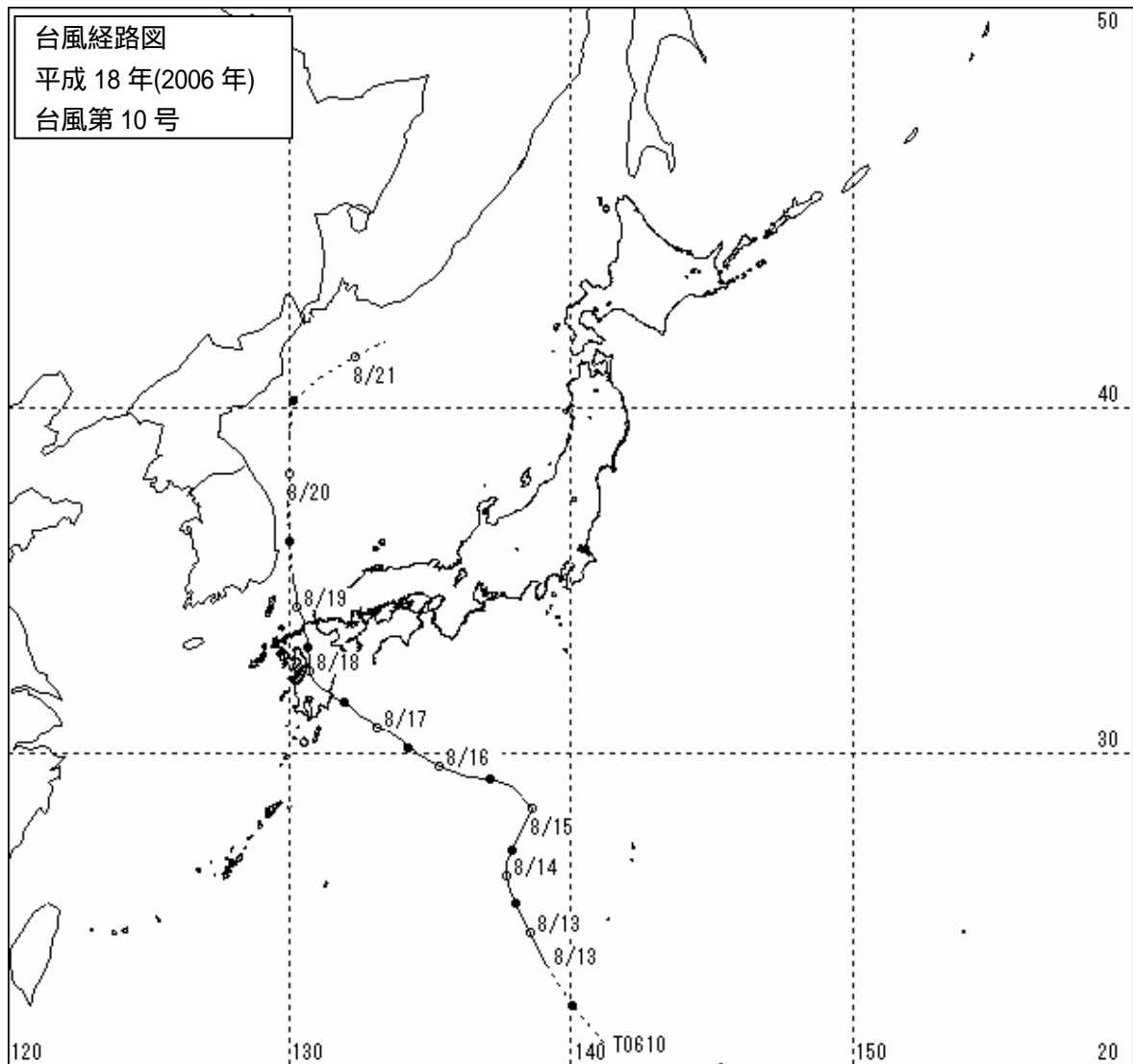
7 8月18日から19日にかけての台風10号

(1) 気象

ア 概況

台風第10号は18日01時過ぎ宮崎県宮崎市付近に上陸し、18時頃に熊本市付近を通過、その後福岡県を北上して19日06時頃響灘へ抜けた。

この台風により、佐賀で18日12時13分に北東の風20.1m/sの最大瞬間風速を観測した。また、土木被害、農業被害、林業被害及び文教被害が発生した。



イ 日最大風速 (m / s)

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
8月18日	5	10	13	9	8	15

ウ 降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
8月18日	130	196	108	114	92	54	141	68	90	167
8月19日	40	13	7	24	25	14	22	17	17	9

エ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風	大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水 大雨，雷，波浪，洪水	8/18 5:40(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水，暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 大雨，洪水，暴風，波浪 暴風，波浪 暴風	雷 大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水 雷 大雨，雷，洪水 大雨，雷，波浪，洪水	8/18 13:05(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水，暴風，波浪 大雨，洪水，暴風 大雨，洪水，暴風，波浪 大雨，洪水，暴風，波浪 大雨，洪水，暴風，波浪 大雨，洪水，暴風	雷 雷 雷 雷 雷 雷，波浪	8/18 16:35(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水，暴風，波浪 大雨，洪水	雷，強風，波浪 雷，強風 雷，強風，波浪 雷，強風，波浪 雷 雷，強風，波浪	8/18 20:15(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水 大雨，洪水，暴風，波浪 大雨，洪水	雷，強風，波浪 雷，強風 雷，強風，波浪 雷，強風，波浪 雷 雷，強風	8/19 5:40(切替)

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	波浪	大雨，雷，強風，波浪	8/19 11:10(切替)
		大雨，雷，強風	
		大雨，雷，強風，波浪	
		大雨，雷，強風，波浪	
		大雨，雷，強風	
		大雨，雷，強風	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		強風，波浪 強風 強風，波浪 強風，波浪 強風，波浪 強風	8/19 14:10(切替)
唐津地区		強風，波浪	8/19 18:30(切替) 8/20 5:00(解除)

(2) 被害

被害総額 557,406千円

ア 土木被害 93,000千円

区分	被害数量	被害金額(千円)	備考
河川	16箇所	64,500	護岸崩壊
道路	13箇所	28,500	路肩崩壊、法面崩壊
計		93,000	

イ 農業被害 344,066千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農地	田	21.63ha	136,000	畦畔法崩れ
	畑	0.47ha		
農業用施設	利用施設	38箇所	3,544	園芸ハウス破損
	ため池	1箇所	113,000	漏水
	水路	32箇所		法崩れ
	道路	27箇所		法崩れ
	その他	1箇所		頭首工破損
農産物	水稻	355ha	64,479	
	野菜	9.7ha	6,562	
	果樹	102.3ha	20,481	
計			344,066	

ウ 林業被害 100,340千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	1箇所	70,000	
林道	33箇所	30,340	法面崩壊、路肩崩壊
計		100,340	

エ 文教被害 20,000千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
敷地	1箇所	20,000	擁壁倒壊
計		20,000	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 8月18日 5時40分 ~ 8月19日 16時00分

(イ) 市町村

災害対策本部 1市町

災害警戒本部 2市町

災害情報連絡室 21市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 33人

(イ) 消防団員 188人

8 9月16日から18日にかけての台風13号及び秋雨前線豪雨

(1) 気象

ア 概況

平成18年9月10日21時にフィリピンの東海上で発生した台風第13号は、太平洋高気圧の南の縁に沿って発達しながら西に進み、15日からは北寄りに向きを変え、16日早朝に石垣島付近を通過し東シナ海を北上した。

同時期、九州南部にあった前線が北上して対馬海峡に停滞し、台風からの湿った暖かい空気が流れ込み前線の活動が活発となった。このため、佐賀県北部では9月16日明け方から昼前にかけて記録的な大雨となり、唐津市や伊万里市では土砂災害が発生した。

また、河川の水位が上昇したため、徳須恵川に洪水警報を、嘉瀬川、牛津川に洪水注意報を発表した。

その後、台風第13号は、東シナ海を北上して17日18時過ぎに長崎県佐世保市付近に上陸した。上陸時の勢力は「強い台風」で、中心の気圧は950ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は40メートルで、上陸後も強い勢力を保ったまま佐賀県、福岡県を通過して20時頃玄界灘へ抜け、日本海へと進んだ。

今年九州に上陸した台風は第10号に続いて2個目で、佐賀県を通過した台風としては、平成17年9月の台風第14号以来となった。

イ 暴風

佐賀県は平成18年9月17日昼前(10時頃)に風速15メートル以上の強風域に入り、17日昼過ぎ(14時頃)から夕方(17時頃)にかけて、ほぼ全域が風速25メートル以上の暴風域に入った。佐賀で18時50分に南南東の風50.3メートルの最大瞬間風速を観測、観測開始以来第3位の記録となった。

また、18時50分に川副で南南東の風35メートル、19時00分に佐賀で南南東の風28.6メートルの最大風速を観測した。

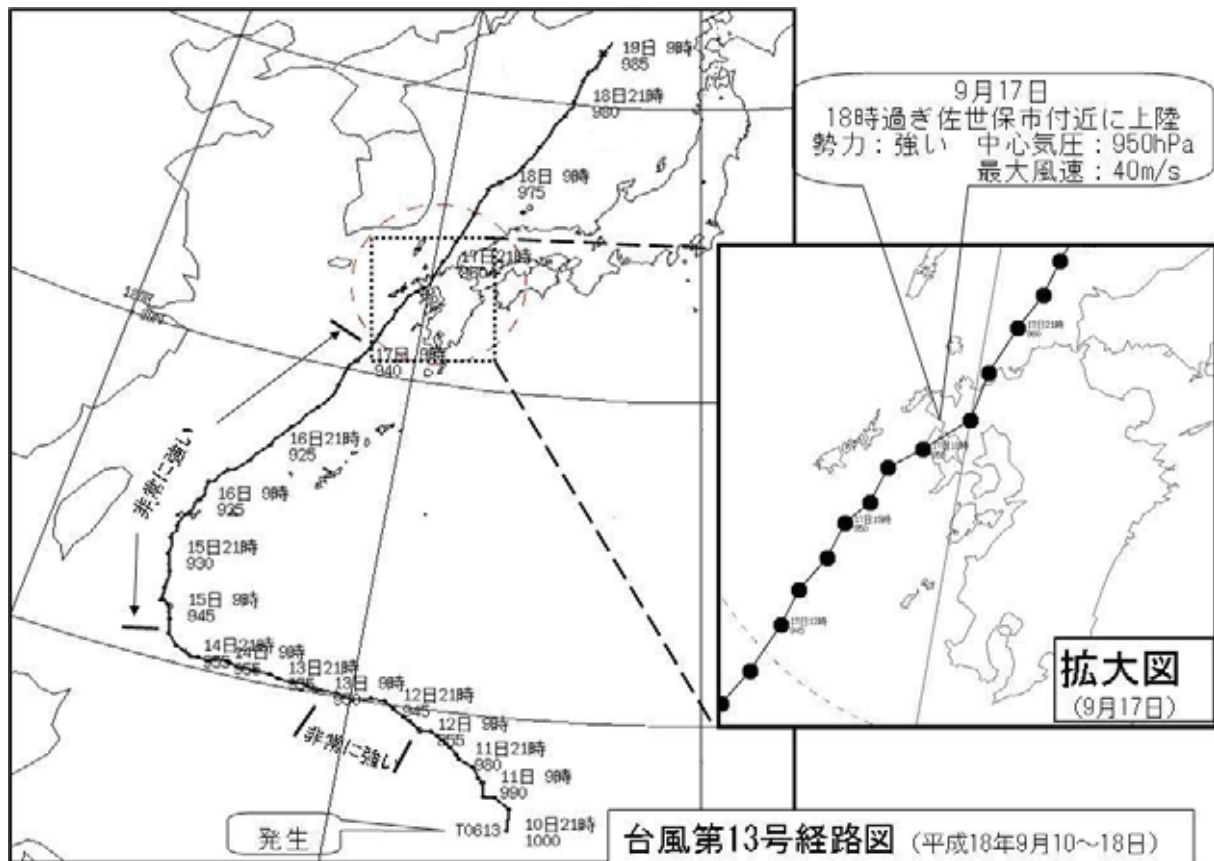
佐賀県は18日00時頃暴風域を抜け、05時ごろには強風域から抜けた。

ウ 大雨

アメダスの観測によると佐賀県北部では、前線の活動が活発となり、16日明け方前から昼前にかけて局地的に50ミリ以上の非常に激しい雨が降った。特に、伊万里では10時10分までの1時間に99ミリ、枝去木で06時20分までの1時間に89ミリの猛烈な雨を観測し、それぞれ日最大1時間降水量の極値を更新した。

17日は、台風をとりまく雨雲が断続的に流れ込み、県内は、昼過ぎから宵のうちにかけ台風の北側の強い雨雲が流れ込み、枝去木で19時10分までの1時間に77ミリの非常に激しい雨を観測した。

15日から18日までの総降水量は、伊万里402ミリ、枝去木326ミリ、和多田268ミリ、嬉野132ミリ、八幡岳191ミリ、佐賀市124.5ミリなど、北部を中心に大雨となった。



工 日最大風速 (m / s)

区 分	枝去木	伊万里	佐賀	嬉野	白石	川副
9月17日	11	12	28.6	18	19	35

停電により、一部欠測のため資料不足値となっている

オ 降水量 (mm)

区 分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
9月16日	112	126	76	285	133	95	22	33	6	14
9月17日	152	98	20	99	41	24	101	30	47	1(1)
9月18日	44	30	3	4	8	0	1	0	1	-(2)

1 機器障害により途中から欠測

2 機器障害により欠測

力 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 波浪 雷	9/16 4:05(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		大雨, 雷, 洪水 大雨, 雷, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 洪水	9/16 6:28(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水	大雨, 雷, 洪水 雷, 波浪 大雨, 雷, 洪水	9/16 6:41(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水	大雨, 雷, 洪水 雷, 波浪 雷	9/16 8:00(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷 雷 雷 大雨, 雷, 洪水 雷, 波浪 雷	9/16 8:27(切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷 雷 雷 大雨, 雷, 洪水 雷, 波浪 雷	9/16 10:28 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水 大雨, 洪水	雷 大雨, 雷, 洪水 雷 雷 雷, 波浪 雷	9/16 14:05 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区		雷 雷 大雨, 雷, 洪水 雷 大雨, 雷, 波浪, 洪水 大雨, 雷, 洪水	9/16 16:35 (切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		雷 雷, 強風, 波浪 雷	9/16 19:42 (切替)

地域	種類		発表・切替・ 解除日時
	警報	注意報	
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風	大雨，雷，洪水，高潮 大雨，雷，洪水 大雨，雷，洪水，高潮 大雨，雷，洪水，高潮 大雨，雷，洪水，高潮 大雨，雷，波浪，洪水，高潮	9/17 6:50 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	大雨，洪水，暴風，波浪，高潮 大雨，洪水，暴風 大雨，洪水，暴風，波浪，高潮 大雨，洪水，暴風，波浪，高潮 大雨，洪水，暴風，波浪，高潮 大雨，洪水，暴風，高潮	雷 雷 雷 雷 雷 雷，波浪	9/17 11:20 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪，高潮 暴風 暴風，波浪，高潮 暴風，波浪，高潮 暴風，波浪，高潮 暴風，高潮	 大雨，洪水 大雨，波浪，洪水	9/17 20:50 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	暴風，波浪 暴風 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風，波浪 暴風	 波浪	9/17 23:35 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	波浪 波浪 波浪 波浪	強風 強風 強風 強風 強風 強風，波浪	9/18 3:35 (切替)
佐賀多久地区 鳥栖地区 武雄地区 鹿島地区 唐津地区 伊万里地区	 波浪	強風，波浪 強風 強風，波浪 強風，波浪 強風 強風	9/18 6:44 (切替)
唐津地区		波浪	9/18 9:45 (切替)

(2) 被害

被害総額 29,523,043千円

ア 主な特徴

過去最悪の水稲作況指数

台風接近に伴う16日～17日の秋雨前線による大雨、17日から18日にかけての強風による被害の他、台風の最接近と有明海の満潮時間が重なったことにより、南からの暴風が有明海の海水をまき上げ、かなり広い範囲に飛ばしたことから、台風通過後に雨がほとんど降らなかったことから、有明海沿岸地域一帯を中心に、広範囲にわたって、水稲、大豆、みかん、野菜に潮風害が発生し、特に水稲や大豆で甚大な被害となった。

	全体の被害面積 (a)	潮風害による被害面積 (b)	(b)/(a)
水稲	21,672ha	13,542ha	62.5%
大豆	6,867ha	4,442ha	64.7%

このため、平成18年水稲の作況指数は「49」の著しい不良となった。これは、昭和23年以降公表された中で、最低であった平成3年の「64」を大幅に下回る過去最悪のものとなった。

大規模停電

17日には、佐賀県域が台風13号の暴風域に入り、佐賀で最大瞬間風速50.3mを記録するなど、記録的な暴風となり、県内各地で停電が発生するなど、ライフラインが断絶した。

停電は、17日15時頃から発生し、17日20時には、124,100世帯（九州電力佐賀支店管内）に達した。

停電の復旧は、20日20時にほぼ完了した（高圧配電線19日7時10分、家屋への引込線等低圧配電線20日20時）が、一部の地域では、停電期間が3日間（17日15時～20日20時）にわたり、テレビやファックス、携帯電話が使用できないなど情報収集の手段が絶たれたことや、高層アパートなどで断水が発生したことにより、県民に大きな混乱と不安を与えるなど、県民生活に大きな影響があった。

イ 人的被害

区分	被害数量	備考
死者	3名	伊万里市(3)
負傷者	31名	佐賀市(7)、唐津市(2)、鳥栖市(4)、多久市(3)、武雄市(1)、嬉野市(1)、神埼市(1)、川副町(6)、久保田町(1)、白石町(3)、太良町(2)
計	34名	

ウ 住家被害

区 分	被害数量	備 考
全壊	7 棟	唐津市 (4) 伊万里市 (2) 東与賀町 (1)
半壊	8 棟	唐津市 (3) 川副町 (3) 東与賀町 (2)
一部損壊	2 , 9 7 7 棟	佐賀市 (2 1 6) 伊万里市 (3) 鹿島市 (5 2) 小城市 (3 7) 嬉野市 (2) 神崎市 (7) 川副町 (6 0 9) 東与賀町 (4 7) 久保田町 (9 5 2) 基山町 (1) みやき町 (2) 玄海町 (1) 有田町 (1) 大町町 (5 0) 江北町 (3 0 1) 白石町 (6 9 3) 太良町 (3)
床上浸水	1 1 1 棟	唐津市 (4 5) 伊万里市 (6 6)
床下浸水	3 6 9 棟	佐賀市 (8) 伊万里市 (3 5 9) みやき町 (2)
計	3 , 4 7 2 棟	

エ 土木被害 5 , 3 7 7 , 3 4 0 千円

区 分	被害数量	被害金額 (千円)	備 考
河川	2 3 2 箇所	2 , 6 1 2 , 7 0 0	護岸崩壊
道路	2 3 8 箇所	1 , 3 3 9 , 1 3 0	路肩崩壊、法面崩壊
港湾施設	1 0 箇所	2 5 , 5 1 0	道路法面崩壊 等
その他	1 5 箇所	1 , 4 0 0 , 0 0 0	斜面崩壊、土石流
計		5 , 3 7 7 , 3 4 0	

オ 農業被害 20,363,291千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
農 地	田	122.97ha	2,172,000	
	畑	22.57ha		
農 業 用 施 設	利用施設(畜産)	226箇所	415,362	牛舎、等の破損
	利用施設(園芸)	1,301箇所	1,004,197	ハウス破損等
	ため池	72箇所	3,069,000	漏水
	水路	712箇所		法崩れ
	道路	842箇所		法崩れ
	橋梁	17箇所		流失
	その他	89箇所		頭首工破損等
農協等 施設	共同利用施設	236箇所	161,788	建物破損等
農 産 物	水稻	21,672ha	9,579,529	
	大豆	6,867ha	2,174,233	
	野菜	317ha	875,074	
	果樹	1,857ha	875,997	
	花き	4.9ha	32,741	
	飼料作物	3ha	210	
畜産	家畜		3,160	
計			20,363,291	

カ 林業被害 2,727,416千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
林地	244箇所	2,184,000	
林道	327箇所	422,928	法面崩壊、路肩崩壊
林業施設	10箇所	2,526	木材加工施設の破損等
林産物	43.6ha	57,162	スギ、ヒノキの倒木等
治山施設	13箇所	60,800	
計		2,727,416	

キ 水産被害 442,776千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
漁港		6箇所	186,500	設備破損
施設	漁船	386隻	85,160	破損、転覆等
	加工施設、倉庫	353箇所	164,472	施設の破損等
その他	棧橋	14箇所	6,644	流出、破損
計			442,776	

ク 文教被害 207,000千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
私立文教施設		1箇所	11,000	校舎外壁崩落等
公立 文教 施設	建物	7箇所	196,000	建物の破損
	校地	1箇所		法面崩壊
	文化財	3箇所		建物の破損
	その他	2箇所		体育施設等の破損
計			207,000	

ケ 商工被害 234,778千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
商工施設			234,778	商品等の破損
計			234,778	

コ 厚生被害 79,378千円

区 分		被害数量	被害金額(千円)	備 考
水道施設		3箇所	34,000	配水管、ポンプ損傷
福祉施設		3箇所	45,378	瓦破損
計			79,378	

サ その他 91,064千円

区 分	被害数量	被害金額(千円)	備 考
県営住宅	126箇所	28,000	建物の破損、倒木等
公共施設等	4箇所	31,064	建物の破損
都市公園	5箇所	32,000	建物の破損、法面崩壊
計		91,064	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県

災害情報連絡室 9月16日 6時41分 ~ 9月16日 11時00分
 災害警戒本部 9月16日 11時00分 ~ 9月19日 18時00分
 災害情報連絡室 9月19日 18時00分 ~ 9月29日 17時00分

(イ) 市町村

災害対策本部 11市町
 災害警戒本部 2市町
 災害情報連絡室 23市町

イ 消防機関の出動状況

(ア) 消防職員 707人
 (イ) 消防団員 3,743人

9 11月6日の降雹

(1) 気象

ア 概況

6日00時頃から02時頃にかけて、小城市付近でひょうが降り、大豆や野菜、ビニールハウス等に農業被害が発生した。

イ 降水量 (mm)

区分	枝去木	和多田	権現山	伊万里	八幡岳	佐賀	嬉野	白石	川副	多良岳
11月6日	0	2	2	7	19	39	12	8	11	4

ウ 注意報・警報の発表状況

地域	種類		発表・切替・解除日時
	警報	注意報	
唐津地区		強風, 波浪	11/6 5:00(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		強風 強風, 波浪 強風	11/6 16:59(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区	暴風	強風 波浪 強風	11/6 23:52(切替)
南部 唐津地区 伊万里地区		強風 強風, 波浪 強風	11/7 7:00(切替)

(2) 被害

被害総額 47,426千円

ア 農業被害 47,426千円

区分		被害数量	被害金額(千円)	備考
施設 農業用	利用施設(園芸)	35箇所	14,245	ハウス倒壊等
	利用施設(畜産)	2箇所	75	牛舎破損
農産物	大豆	79ha	14,012	
	野菜	3.8ha	8,740	
	果樹	91ha	10,354	
計			47,426	

(3) 災害応急対策

ア 災害情報連絡室、災害警戒本部及び災害対策本部の設置状況

(ア) 県
なし

(イ) 市町村
なし

イ 消防機関の出動状況

なし

平成 18 年月別気象概況

(資料提供：佐賀地方気象台)

1月

(上旬)

- ・ 高気圧と気圧の谷や冬型の気圧配置の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 3.8 で平年より低く、降水量は 0.5mm で平年よりかなり少なく、日照時間は 53.0 時間で平年より多かった。
- ・ 5 日から 6 日にかけて気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で、1~7mm の雨や雪を観測したところがあった。
- ・ 7 日から 9 日にかけての朝は放射冷却現象で冷え込み、8 日には白石で最低気温 -5.1 を観測した。

(中旬)

- ・ 旬をとおして低気圧や前線、気圧の谷の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。佐賀の平均気温は 7.7 で平年よりかなり高く、降水量は 32.0mm で平年より多く、日照時間は 17.7 時間で平年よりかなり少なかった。
- ・ 13 日から 14 日にかけて九州の南部付近を低気圧が通過したため、各地で 21~33mm の雨を観測した。
- ・ 16 日は前線が九州の南海上を通過したため、各地で 4~6mm の雨を観測した。
- ・ 18 日は気圧の谷の影響で、各地で 1~3mm の雨を観測した。20 日は低気圧が九州の南海上を通過したため、1~2mm の雨を観測したところがあった。

(下旬)

- ・ 旬の中頃は高気圧に覆われて晴れた日があったが、旬の初めと終わりは冬型の気圧配置や南から湿った空気が流れ込んだ影響で曇りや雨の日があった。
- ・ 佐賀の平均気温は 6.2 で平年より高く、降水量は 6.0mm で平年より少なく、日照時間は 55.6 時間で平年より多かった。
- ・ 21 日から 22 日にかけて冬型の気圧配置となり、1~14mm の雨やみぞれを観測したところがあった。30 日から 31 日にかけて南から湿った空気が流れ込み、4~6mm の雨を観測したところがあった。

2月

(上旬)

- ・ 高気圧と気圧の谷や冬型の気圧配置の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 4.8 で平年より低く、降水量は 30.5mm で平年より多く、日照時間は 44.2 時間で平年より少なかった。
- ・ 1日は低気圧が九州南岸を通過し、各地で 1～4mm の雨を観測した。
- ・ 4日は冬型の気圧配置となり佐賀で 1cm の積雪を観測した。
- ・ 6日から7日にかけて低気圧が九州北部を通過し、各地で 22～29mm の雨やみぞれを観測した。
- ・ 10日は気圧の谷の影響により北部で 1mm の雨を観測したところがあった。

(中旬)

- ・ 高気圧と気圧の谷や低気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 7.4 で平年並み、降水量は 42.5mm で平年より多く、日照時間は 36.3 時間で平年より少なかった。
- ・ 11日は気圧の谷の影響で、北部で 1mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 14日から16日にかけて低気圧や前線、気圧の谷の影響で、各地で 19～46mm の雨を観測した。
- ・ 20日は気圧の谷の影響で、各地で 3～8mm の雨を観測した。

(下旬)

- ・ 高気圧と気圧の谷や低気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 9.8 で平年より高く、降水量は 33.5mm で平年より多く、日照時間は 41.2 時間で平年並みであった。
- ・ 22日は気圧の谷の影響で、各地で 1～4mm の雨を観測した。
- ・ 25日から26日にかけて九州を通過した低気圧の影響で、各地で 21～25mm の雨を観測した。
- ・ 28日は九州南岸の前線の影響で、各地で 7～9mm の雨を観測した。

3月

(上旬)

- ・ 高気圧と気圧の谷や低気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は8.7 で平年より高く、降水量は36.0mm で平年より多く、日照時間は46.6時間で平年並であった。
- ・ 1日は前線を伴った低気圧が九州南岸を通過し、各地で15～25mmの雨を観測した。
- ・ 2日は冬型の気圧配置となり、1mmの雨やみぞれを観測したところがあった。
- ・ 6日は前線が九州を南下し、各地で11～22mmの雨を観測した。
- ・ 9日は低気圧が九州の南岸を通過し、1～2mmの雨を観測したところがあった。

(中旬)

- ・ 天気は周期的に変化し、13日から14日にかけて冬型の気圧配置となった。佐賀の平均気温は8.6 で平年より低く、降水量は41.5mm で平年並、日照時間は50.8時間で平年並であった。
- ・ 12日に前線が九州北部を通過し、13日から14日にかけて冬型の気圧配置となり、2～9mmの雪や雨、みぞれが降ったところがあった。
- ・ 16日は低気圧が九州北部を通過し、各地で14～37mmの雨が降った。
- ・ 18日は低気圧が九州南部を通過し、各地で14～20mmの雨が降った。
- ・ 冬型の気圧配置となった14日は伊万里で北西の風13m/sを観測し、3月の日最大風速の極値を更新した。

(下旬)

- ・ 高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、期間の初めと中頃に低気圧や前線の影響を受け、雨の日があった。佐賀の平均気温は10.7 で平年並、降水量は5.5mm で平年よりかなり少なく、日照時間は77.5時間で平年よりかなり多かった。
- ・ 21日から22日は低気圧が九州南岸を通過し、各地で5～16mmの雨を観測した。
- ・ 28日は寒冷前線が九州北部を通過し、1～9mmの雨や雷を観測したところがあった。
- ・ 桜(ソメイヨシノ)は、23日(昨年より8日、平年より3日早い)に開花した。

4月

(上旬)

- ・ 高気圧と気圧の谷や低気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。このうち10日は大雨となった。佐賀の平均気温は13.4で平年並、降水量は236.5mmで平年よりかなり多く、日照時間は42.5時間で平年より少なかった。
- ・ 1日から2日は、日本海に中心を持つ低気圧からのびる寒冷前線の影響で、各地で9~82mmの雨が降り、佐賀では雷を観測した。
- ・ 4日から5日は前線を伴った低気圧が九州北部を通過し、各地で37~88mmの雨が降り、佐賀では雷を観測した。
- ・ 9日夜から10日は前線を伴った低気圧が九州北部に接近し、動きが遅かったため長時間雨が降り、各地で101~245mmの大雨を観測した。
- ・ 10日は県内のほとんどの観測所で日降水量や日最大1時間降水量の4月の極値を更新した。

(中旬)

- ・ 旬の前半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。佐賀の平均気温は14.1で平年より低く、降水量は81.0mmで平年より多く、日照時間は46.0時間で平年より少なかった。
- ・ 11日は低気圧が九州北部を通過し、各地で28~77mmの雨を観測した。12日から13日にかけて低気圧が九州の南海上を通過し、各地で3~8mmの雨を観測した。
- ・ 14日から15日にかけて低気圧が九州の南海上を通過し、各地で3~26mmの雨を観測した。
- ・ 19日の夜は日本海に中心を持つ低気圧からのびる寒冷前線が通過し、各地で1~10mmの雨を観測した。
- ・ 20日は伊万里で西南西の風11m/sを観測し、4月の日最大風速の極値を更新した。

(下旬)

- ・ 高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、北から流れ込む冷たい空気の影響を受けた。また、期間の初めと中頃に低気圧の影響を受け雨の日があった。佐賀の平均気温は14.7で平年よりかなり低く、降水量は27.5mmで平年より少なく、日照時間は69.5時間で平年より多かった。
- ・ 22日は低気圧が九州の南部を通過し、各地で13~30mmの雨を観測した。
- ・ 26日から27日は低気圧が九州の南海上を通過し、1~7mmの雨を観測したところがあった。

5月

(上旬)

- ・ 期間の前半は高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響で雨の日が多かった。佐賀の平均気温は 19.7 で平年よりかなり高く、降水量は 125.0mm で平年より多く、日照時間は 53.2 時間で平年並であった。
- ・ 6日から7日は前線を伴った低気圧が朝鮮半島付近を通過し、各地で 23～110mm の雨を観測した。
- ・ 8日は気圧の谷の影響で、北部で 2～3mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 10日は前線を伴った低気圧が対馬海峡を通過し、各地で 36～92mm の雨を観測した。

(中旬)

- ・ 期間を通して低気圧や前線、気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多かった。佐賀の平均気温は 18.6 で平年より低く、降水量は 164.0mm で平年よりかなり多く、日照時間は 28.0 時間で平年よりかなり少なかった。
- ・ 12日の夜遅くから13日の昼過ぎにかけて気圧の谷の影響で、各地で 20～28mm の雨を観測した。
- ・ 15日の夜遅くから16日の昼前にかけて気圧の谷の影響で、各地で 1～5mm の雨を観測した。
- ・ 16日の夜遅くから18日の午前3時頃にかけて九州南岸の前線が北上し、各地で 25～42mm の雨を観測した。
- ・ 18日の夕方から20日の朝のうちにかけて台風第1号から変わった低気圧の影響で、各地で 49～132mm の雨を観測した。

(下旬)

- ・ 期間を通して低気圧や前線、気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多かった。佐賀の平均気温は 20.4 で平年並、降水量も 49.0mm で平年並であったが、日照時間は 61.4 時間で平年より少なかった。
- ・ 22日は気圧の谷の影響で、各地で 4～23mm の雨を観測した。
- ・ 23日は九州南岸の前線の影響で、各地で 10～34mm の雨を観測した。
- ・ 26日は東シナ海に中心を持つ低気圧からのびる温暖前線の接近により、各地で 8～17mm の雨を観測した。
- ・ 27日は低気圧が朝鮮半島を通過し、各地で 5～23mm の雨を観測した。
- ・ 28日は低気圧が日本海西部へ進み、1～5mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 日照不足に関する佐賀県気象情報第1号を22日11時30分に発表した。

6月

(上旬)

- ・ 期間の半ばまで高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨の日があった。
- ・ 佐賀の平均気温は 22.8 で平年より高く、降水量は 20.5mm で平年より少なく、日照時間は 57.2 時間で平年並であった。
- ・ 2日は東シナ海に中心を持つ低気圧からのびる温暖前線が接近し、弱い雨を観測したところがあった。
- ・ 8日から9日にかけては東シナ海に中心を持つ低気圧が東進して九州南部を通過し、各地で 21～32mm の雨を観測した。
- ・ 日照不足に関する佐賀県気象情報第2号を2日15時35分に発表した。
- ・ 九州北部地方(山口県を含む)は、8日頃梅雨入りしたとみられる。

(中旬)

- ・ 低気圧や梅雨前線と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 佐賀の平均気温は 24.0 で平年より高く、降水量は 63.0mm で平年より少なく、日照時間は 55.9 時間で平年より多かった。
- ・ 11日は低気圧が朝鮮半島北部を通過し、2～7mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 14日から15日にかけて低気圧と前線の影響で、20～108mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 17日から18日にかけて九州南部に停滞する梅雨前線の影響で、1～27mm の雨を観測したところがあった。

(下旬)

- ・ 期間を通して梅雨前線の影響を受け、雨の日が多かった。
- ・ 佐賀の平均気温は 25.0 で平年より高く、降水量は 248.5mm で平年より多く、日照時間は 19.2 時間で平年より少なかった。
- ・ 期間中、梅雨前線の影響を受け、各地で 219～397mm の雨を観測した。

7月

(上旬)

- ・ 期間を通して梅雨前線や台風の影響を受け、雨や曇りの日が多かった。佐賀の平均気温は26.5 で平年より高く、降水量は144.0mm で平年より多く、日照時間は17.2時間で平年よりかなり少なかった。
- ・ 1日から9日にかけては、梅雨前線の影響を受け、各地で129～221mmの雨を観測した。
- ・ 10日は台風第3号が黄海を北上し、各地で3～14mmの雨を観測した。
- ・ 9日は南から暖かく湿った空気が流れ込み、フェーン現象も加わって、佐賀、嬉野、白石で最高気温が35以上に達した。

(中旬)

- ・ 期間の初めと終わりは梅雨前線の影響を受け、曇りや雨の日が多かった。期間の中頃は太平洋高気圧に覆われ晴れたが、南から湿った空気が流れ込み雨の降る日もあった。佐賀の平均気温は28.9 で平年よりかなり高く、降水量は148.0mm で平年より多く、日照時間は47.5時間で平年並みであった。
- ・ 11日は梅雨前線が対馬海峡を北上し、1～10mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 16日から17日にかけては太平洋高気圧の周辺部にあたり、南から湿った空気が流れ込み、1～5mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 18日から20日にかけては、梅雨前線の影響を受け、各地で70～187mmの雨を観測した。

(下旬)

- ・ 期間の前半は梅雨前線の影響を受け曇りや雨の日が多かったが、後半は太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かった。佐賀の平均気温は27.4 で平年より低く、降水量は84.0mm で平年より多く、日照時間は63.1時間で平年並みであった。
- ・ 21日から25日にかけては、梅雨前線の影響を受け、各地で74～147mmの雨を観測した。
- ・ 26日は、太平洋高気圧の周辺部にあたり、南から湿った空気が流れ込み、3mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 九州北部地方(山口県を含む)は、26日頃梅雨明けしたとみられる。

8月

(上旬)

- ・ 期間を通して太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受けて、にわか雨や雷雨となる日もあった。佐賀の平均気温は 30.3 で平年よりかなり高く、降水量は 0.0mm で平年よりかなり少なく、日照時間は 98.6 時間で平年よりかなり多かった。
- ・ 一時的に南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受けて大気の状態が不安定となり、2日は2～8mm、5日は10mm、9日は1～2mm、10日は1mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 8日は太平洋高気圧に覆われ晴れて気温が上昇し、白石で 38.1、川副で 37.0 の日最高気温を観測し、8月の日最高気温の極値を更新した。

(中旬)

- ・ 期間の前半は高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、南からの湿った空気が流れ込み雨の降る日もあった。後半は台風第 10 号の影響を受け雨の日が多かった。佐賀の平均気温は 28.9 で平年よりかなり高く、降水量は 70.5mm で平年より多く、日照時間は 60.2 時間で平年並みであった。
- ・ 11日から13日にかけて高気圧に覆われるが、南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受けて一時的に大気の状態が不安定となり、1～33mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 17日から19日にかけて台風第 10 号が九州を縦断し、各地で 68～211mmの雨を観測した。
- ・ 20日は太平洋高気圧の周辺部にあたり、南から湿った空気が流れ込み、1～14mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 台風第 10 号は 18 日 01 時過ぎ宮崎県宮崎市付近に上陸し、18 時頃に熊本市付近を通過、その後福岡県を北上して 19 日 06 時頃響灘へ抜けた。この台風により、佐賀で 18 日 12 時 13 分に北東の風 20.1m/s の最大瞬間風速を観測した。
- ・ 17日は佐賀市の日最低気温 28.9 を観測し、8月の「日最低気温の高い方から」の極値を更新した。

(下旬)

- ・ 期間の半ばまで高気圧に覆われ晴れたが、南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受け、にわか雨や雷雨となる日もあった。後半は前線や低気圧の影響を受け、雨の日が多かった。
- ・ 佐賀の平均気温は 27.8 で平年より高く、降水量は 153.5mm で平年より多く、日照時間は 60.2 時間で平年並みであった。
- ・ 21日から22日にかけて、強い日射の影響を受け一時的に大気の状態が不安定となり、3～17mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 25日から27日にかけて南からの湿った空気の流れ込みや強い日射の影響を受け、一時的に大気の状態が不安定となり、各地で 4～37mmの雨を観測した。
- ・ 29日は気圧の谷の影響を受け、1～24mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 30日から31日にかけて前線を伴った低気圧が九州北部を東進し、各地で 33～86mmの雨を観測した。

9月

(上旬)

- ・ 低気圧・前線と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 26.1 で平年より高く、降水量は 44.5mm で平年並、日照時間は 50.1 時間で平年より少なかった。
- ・ 1日は九州南海上の前線の影響を受け、2mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 4日から5日にかけて気圧の谷の通過と南からの湿った空気の流れ込みの影響を受け、各地で 5~50mm の雨を観測した。
- ・ 6日から7日にかけて低気圧が九州南部を通過し、1~7mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 9日から10日にかけて前線が九州を通過し、1~42mmの雨を観測したところがあった。

(中旬)

- ・ 前線と台風第 13 号の影響を受け雨の日が多かった。佐賀の平均気温は 22.9 で平年並、降水量は 177.0mm で平年よりかなり多く、日照時間は 40.8 時間で平年より少なかった。
- ・ 12日から13日にかけて、前線と気圧の谷の影響を受け、各地で 15~53mm の雨を観測した。
- ・ 15日から16日は前線の活動が活発となり、17日から19日は台風第 13 号の影響を受け、各地で 57~402mm の雨を観測した。
- ・ 佐賀県北部では、16日明け方から昼前にかけて記録的な大雨となり、伊万里で 1 時間に 99 mm、枝去木で 89 mm の猛烈な雨を観測し、それぞれ日最大 1 時間降水量の極値を更新した。
- ・ また、伊万里で 16 日に日降水量 285 mm を観測し 9 月の日降水量の極値を更新した。この大雨により、唐津市や伊万里市では土砂災害が発生し、死者 3 名の人的被害が発生した。
- ・ 台風第 13 号は、17日 18 時過ぎに長崎県佐世保市付近に上陸し、佐賀で 18 時 50 分に南南東の風 50.3m/s の最大瞬間風速を観測し、19 時 00 分に南南東の風 28.6m/s の最大風速を観測した。
- ・ その他にも嬉野で南南東の風 18m/s、白石で南南西の風 19m/s、川副で南の風 29m/s の最大風速を観測し、それぞれ日最大風向・風速の極値を更新した。

(下旬)

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の初めと終わりに気圧の谷の影響を受け、曇りの日もあった。佐賀の平均気温は 22.0 で平年並み、降水はなく、日照時間は 97.6 時間で平年よりかなり多かった。

10月

(上旬)

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の初めと中頃に気圧の谷の影響を受け雨の日があった。
- ・ 佐賀の平均気温は 21.2 で平年より高く、降水量は 5.0mm で平年より少なく、日照時間は 68.8 時間で平年より多かった。
- ・ 1日は気圧の谷の影響を受け、2～5mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 5日から6日にかけて気圧の谷の影響を受け、1～13mmの雨を観測したところがあった。

(中旬)

- ・ 期間中高気圧に覆われ晴れの日が多く、期間の終わりに気圧の谷の影響を受け雨の日もあった。
- ・ 佐賀の平均気温は 21.1 で平年よりかなり高く、降水量は 0.0mm で平年よりかなり少なく、日照時間は 77.0 時間で平年より多かった。
- ・ 20日は気圧の谷の影響を受け、1mmの雨を観測したところがあった。

(下旬)

- ・ 期間の前半は低気圧や気圧の谷の影響を受け雨や曇りの日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。佐賀の平均気温は 19.2 で平年よりかなり高く、降水量は 23.0mm で平年並、日照時間は 79.5 時間で平年より多かった。
- ・ 22日から25日にかけて低気圧が朝鮮半島を通過し、県内各地で7～99mmの雨を観測した。
- ・ 佐賀の10月の平均気温は 20.4 となり、10月の「月平均気温の高い方から」の極値を更新した。

11月

(上旬)

- ・ 期間の前半は高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の後半は寒冷前線や気圧の谷の影響を受け曇りや雨の日があった。
- ・ 佐賀の平均気温は 16.2 で平年より高く、降水量は 54.0mm で平年より多く、日照時間は 63.4 時間で平年より多かった。
- ・ 5日から6日にかけて寒冷前線が九州北部を通過し、県内各地で 1~39mm の雨を観測した。
- ・ 7日は冬型の気圧配置となり対馬海峡から低い雲が流れ込み、1~3mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 9日から10日にかけて気圧の谷の影響を受け、県内各地で 7~30mm の雨を観測した。6日 00 時頃から 02 時頃にかけて、小城市付近でひょうが降り、大豆や野菜、ビニールハウス等に被害が発生した。
- ・ 「少雨に関する佐賀県気象情報第 1 号」を 1 日に、「少雨に関する佐賀県気象情報第 2 号」を 8 日に発表した。

(中旬)

- ・ 期間中低気圧や前線と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 12.8 、降水量は 26.0mm、日照時間は 39.5 時間でともに平年並であった。
- ・ 11日は四国付近を東進する低気圧の影響を受け、県内各地で 10~29 mm の雨を観測した。
- ・ 14日は寒冷前線が九州北部を南下し、1~17mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 18日から19日にかけて東シナ海の前線上に発生した低気圧が九州の南海上を通過し、県内各地で 9~27mm の雨を観測した。
- ・ 20日は気圧の谷の影響を受け、県内各地で 1~8mm の雨を観測した。

(下旬)

- ・ 期間中低気圧や気圧の谷と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。佐賀の平均気温は 13.7 で平年よりかなり高く、降水量は 34.5mm で平年より多く、日照時間は 28.4 時間で平年よりかなり少なかった。
- ・ 22日は気圧の谷の影響を受け、1~2mm の雨を観測したところがあった。
- ・ 23日は九州南西海上にある低気圧の影響を受け、県内各地で 16~48mm の雨を観測した。
- ・ 26日は前線を伴った低気圧が九州南部を通過し、県内各地で 6~17mm の雨を観測した。
- ・ 27日は九州西海上にある低気圧の影響を受け、県内各地で 8~29mm の雨を観測した。
- ・ 28日から29日にかけて気圧の谷の影響を受け、2~3mm の雨を観測したところがあった。

12月

(上旬)

- ・ 期間中、低気圧や前線と冬型の気圧配置の影響を受け、曇や雨の日が多かった。佐賀の平均気温は9.1 で平年並、降水量は14.5mmで平年並、日照時間は37.7時間で平年より少なかった。
- ・ 2日から5日にかけて寒冷前線や気圧の谷と冬型気圧配置の影響で、1~3mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 7日は前線を伴った低気圧が九州南海上を通過し、県内各地で14~17mmの雨を観測した。
- ・ 8日から9日にかけて気圧の谷の影響を受け、1~4mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 佐賀地方気象台では、5日に平年より13日遅く初霜を観測した。

(中旬)

- ・ 期間中、気圧の谷や前線と冬型の気圧配置の影響を受け、曇や雨の日が多かった。
- ・ 佐賀の平均気温は9.2 で平年より高く、降水量は10.0mmで平年並、日照時間は38.7時間で平年より少なかった。
- ・ 12日から13日にかけて前線の影響を受け、県内各地で3~5mmの雨を観測した。
- ・ 14日は気圧の谷の影響を受け、1~3mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 16日は気圧の谷の影響を受け、県内各地で1~4mmの雨を観測した。
- ・ 17日は冬型の気圧配置の影響を受け、1~14mmの雨を観測したところがあった。
- ・ 佐賀地方気象台では、17日に初雪(平年日に同じ)及び初冠雪(平年より13日遅い)を観測した。
- ・ また、19日は初氷(平年より18日遅い)を観測した。

(下旬)

- ・ 期間中気圧の谷や冬型の気圧配置と高気圧の影響を交互に受け、天気は周期的に変化した。
- ・ 佐賀の平均気温は7.7 で平年より高く、降水量は0.0mmで平年よりかなり少なく、日照時間は60.9時間で平年より多かった。

過去10年間の被害状況

区分	年次				
	9	10	11	12	13
人的被害(人)	2	1	2	2	
死者	1	1		1	
負傷者	1		2	1	
住家被害(棟)	266	86	332	1	139
住家全壊					
住家半壊					
住家一部損壊	6		8		4
住家床上浸水	3	1	9		2
住家床下浸水	257	85	315	1	133
非住家被害(棟)			1		
土木被害	2,540,685	475,300	2,075,800	160,600	1,472,400
農業被害	5,139,750	1,404,045	10,265,134	559,640	3,779,266
林業被害	3,324,406	248,498	708,300	36,900	653,611
水産被害	329,165	23,000	48,100		
文教被害	2,400			2,000	
商工被害	50,000				
厚生被害	4,500	800			
その他(県有財産等)					
計	11,390,906	2,151,643	13,097,334	759,140	5,905,277

(金額単位：千円)

14	15	16	17	18	備考
2	6	81	15	34	
1				3	
1	6	81	15	31	
281	43	1,835	140	3,493	
1		17		7	
1		31	1	8	
2	18	1,784	139	2,981	
12	1			111	
265	24	3		386	
	12	105	1	374	
1,544,623	836,900	509,600	227,975	6,212,140	
3,936,736	3,781,313	9,446,920	1,665,299	22,141,075	
588,521	659,834	871,320	16,970	3,137,736	
	9,068	105,630	17,867	442,776	
	884	36,985	94,367	227,000	
		183,155	114,395	235,993	
	2,948	18,650		79,378	
		187,412	101,786	91,064	
6,069,880	5,290,947	11,359,672	2,238,659	32,567,162	